

第17回佐賀県総合教育会議

(報告)

教育現場における新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について

(意見交換)

スポーツ振興と運動部活動について

報告事項

(報告)

教育現場における新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について

新型コロナウイルス感染症の影響への対応

1 学習の遅れについて

今年度13日間の臨時休業、時差通学、分割授業等によって生じた学習の遅れは、夏季休業の短縮等によって補うことができる見通しが立った。

2 学校行事について

体育祭や修学旅行などの比較的大きな学校行事は、9月以降に実施する方向で準備を進めている。

3 オンライン授業実施等について

県立学校において、オンライン授業実施の体制が概ね整い、再度の臨時休業等の際は対応の見通しが立った。加えて、病気療養中や不登校等の生徒への学習支援についても対応が可能となった。

4 入学者選抜について

県立中学校及び高等学校入学者選抜について、実施日程は当初の計画どおりとする。高等学校入学者選抜の学力検査範囲は、今後の学習状況等を踏まえて慎重に判断する。

5 進学・就職について

進学・就職に対する生徒の不安を払拭するためにも、積極的な情報収集と適切な進路指導に努める。

新型コロナウイルス感染症対策事業

県立学校オンライン授業等整備事業	68百万円	・授業を配信するための環境整備（ヘッドセット・カメラ等） ・インターネット接続環境等の整備
地域産業を担う人材の育成支援事業	36百万円	・県立専門学科・総合学科高校等のうち、県内就職を支援する支援員を配置していない高校に新たに配置（13名）
スクール・サポート・スタッフ配置事業	50百万円	・スクール・サポート・スタッフを配置することにより、教職員の業務をサポートする
県立学校感染症・学習保障対策事業	132百万円	・学校における感染防止対策として各県立学校に予算措置
校舎等施設整備費（空調）	242百万円	・空調が設置されていない県立学校に空調を整備
校舎等施設整備費（特別支援）	119百万円	・特別支援学校のトイレの乾式化、空調未設置の教室に空調を整備

<テーマ>

◎スポーツ振興と運動部活動について

- ・ 競技力向上やスポーツの裾野拡大のためには、部活動による育成体制は重要。
- ・ 教員の働き方改革をはじめとした課題があるなかで、いかに運動部活動を活性化させていくか。

SSP構想における人材育成と部活動

Saga SSP Project

SAGA SSP

always on your side

いつも私たちがついている

SSP (SAGAスポーツピラミッド) 構想を推進しています

2018～

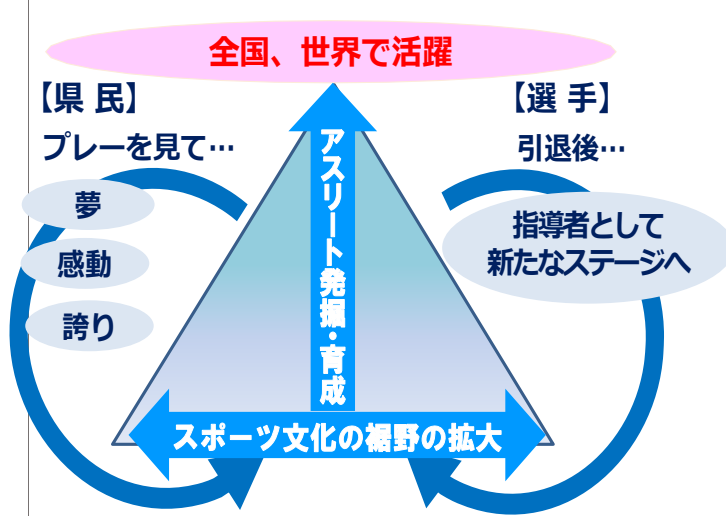


佐賀ゆかりのトップアスリートの育成を通じて、多くの人々がスポーツに関わる（する、育てる、観る、支える）文化が拡大、さらなるアスリートの育成につながる好循環創出

Saga SSP Project

always on your side
いつも私たちがついで

001



短期目標

- ①2023年佐賀国民スポーツ大会で、佐賀に競技力が根付く戦い方で天皇杯獲得
- ②2024年パリオリ・パラに、佐賀ゆかりのトップアスリート10人出場

長期目標

佐賀から世界に挑戦する新たなスポーツシーンを切り拓く

スポーツのチカラを活かした人づくり、地域づくり

7

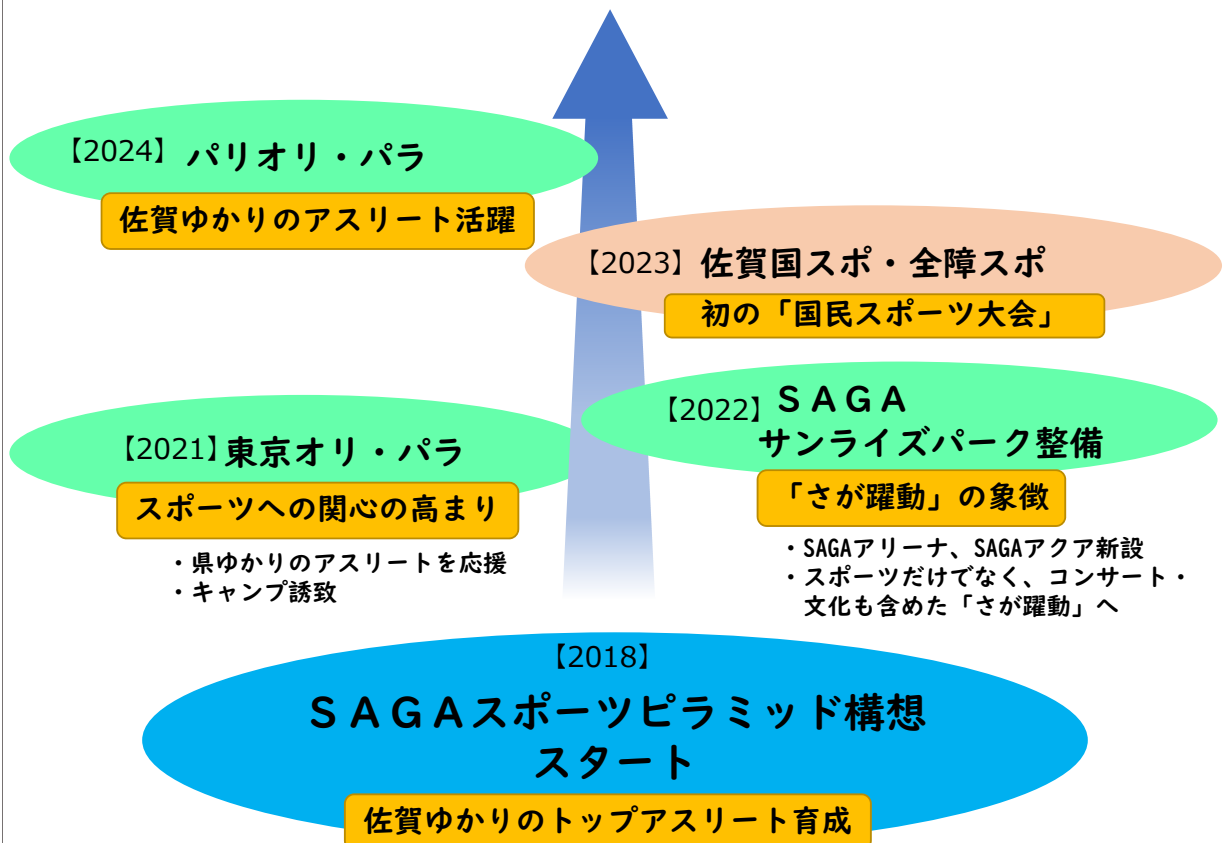
佐賀から世界に挑戦する新しいスポーツシーン



Saga SSP Project

always on your side
いつも私たちがついで

002



8



Saga
SSP
Project

always on your side
いつも私たちがっている

003



SSP構想推進協議会を設立 (2019.11) 行政・教育・スポーツ・経済界等が連携し、構想を推進

会 長=県スポーツ協会会長 (佐賀県知事)

副会長=県商工会議所連合会会長、県副知事

【行政・教育】 佐賀県、市長会、町村会、県教育委員会、私立中高協会

【スポーツ】 スポーツ協会、障がい者スポーツ協会

【経済・産業】 商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業中央会、経済同友会、
経営者協会、農協中央会、玄海漁協、有明漁協、建設業協会、工業連合会、
信金協会、信組協会、地域産業支援センター

【医療・保健】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会

【福祉・地域】 身障者連合会、手をつなぐ育成会、JC佐賀ブロック協、婦人会

【個別企業】 24社

多くのチカラでSSP構想・スポーツを「支える」層に厚みを

9



Saga
SSP
Project

always on your side
いつも私たちがっている

004



SSP構想基本方針 (重点3分野) 2018年9月決定、2019年7月改定



「人材育成」～佐賀で選手も指導者も育つ

- ・ 競技ごとに国内一流指導者と県内指導者が連携した **競技伴走型支援**
- ・ SSPトップアスリート、ライジングアスリート、ホープアスリートの認定による **切れ目のない効果的な個人伴走型支援**
- ・ IMGアカデミー、味の素、日本フェンシング協会など **国内外との連携**
- ・ **スポーツ医科学の定着**と、SAGAサンライズパークを **「育てる」拠点**に



「練習環境充実」～佐賀で競技に打ち込む

- ・ 県、施設設置者、競技団体が協議し、民間資本の活用を含めて、練習環境を充実



「就職支援」～佐賀で暮らし、挑戦する

- ・ SSPアスリートジョブサポによる **アスリート等と企業の個別マッチング**
- ・ SSP基金を活用し、県内企業団体の **アスリート雇用に対する負担軽減**
- ・ 佐賀国スポに向けた企業チーム支援を進めるとともに、新たなチームを育成

10

スポーツエリートアカデミーSAGAによる競技伴走型支援

○中高生を中心に、小学生から社会人まで994人をSEAS支援対象選手とし競技ごとに育成

○選手も、指導者も学ぶことにより、育成体制の「地力」をつける



一流指導者活用等長期育成プログラム

21競技26種目で実施

日本代表コーチ、「常勝監督」が年5～12回佐賀で直接指導

鳥栖エレスリング部	2019国体グレコローマン2階級で優勝
佐賀エラグビー部	2018国体3位、2019国体2位
佐賀女子新体操部	2019国体6位（5年ぶり入賞）
ボウリング少年女子団体	2019国体4位（初の入賞）

専門家サポート活用・スタディツアープログラム

専門家サポート11競技
スタディツアー16競技

ICT活用、栄養学、フィジカル等指導者でカバーできない専門知見活用
中学生等を全国レベル大会に視察させることによる動機付け支援

一流育成機関等提携プログラム

- ・IMGアカデミー（テニスの世界的プレイヤー輩出）のクリニック、現地派遣
- ・味の素（NTCなどでオリンピックを支援）によるセミナー等
- ・日本フェンシング協会との提携

NEW ・福岡教育大学と連携したメンタルサポートの強化

Saga
SSP
Project

always on your side
いつも私たちがついている

005



11

競技伴走型支援 × 個人伴走型支援

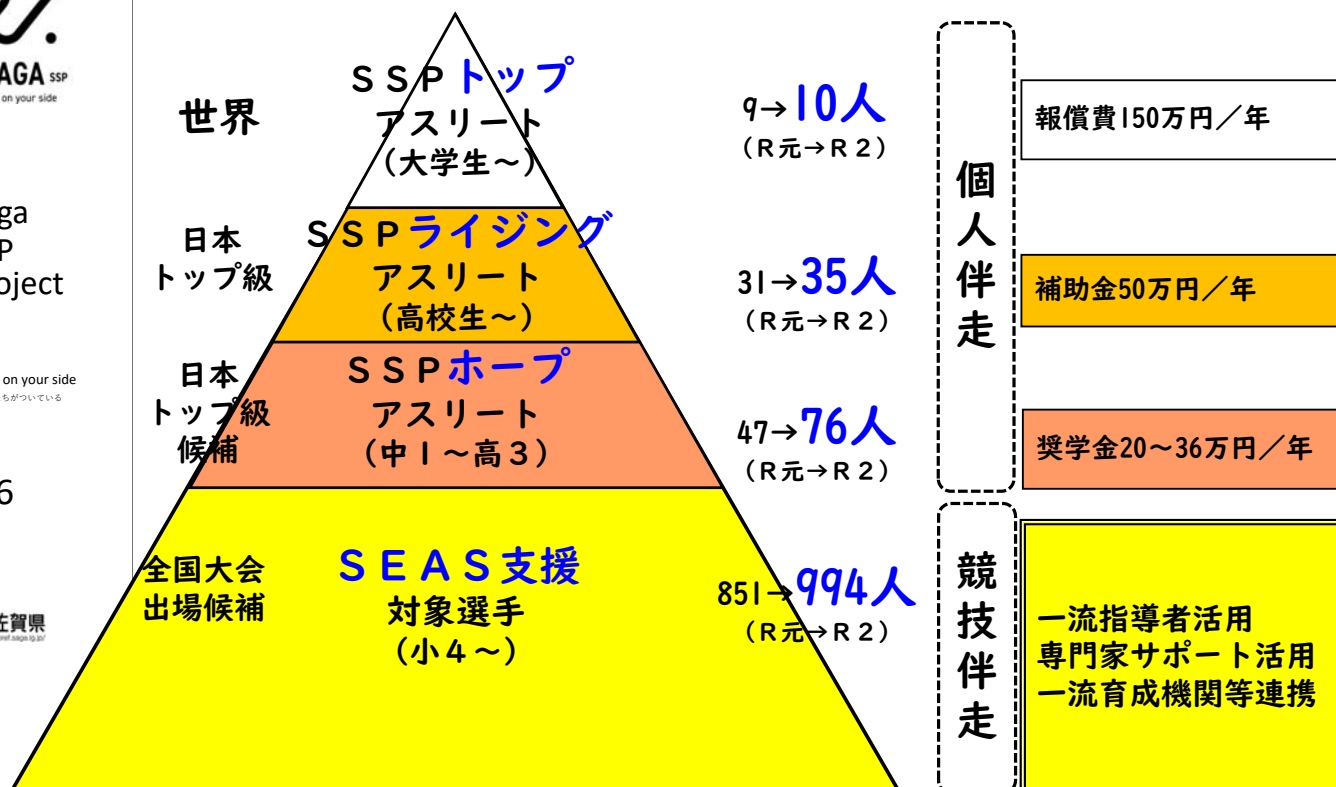
実績に応じて個人伴走型支援を強化、世界に挑戦する志を全力支援！



Saga
SSP
Project

always on your side
いつも私たちがついている

006



12

佐賀県の強み

種目	拠点	特徴
レスリング	鳥栖工業	<ul style="list-style-type: none"> ○インターハイ、国体で優勝者、入賞者多数。 世界大会出場者も → パリ五輪視野 ○鳥栖エレスリング場で、中学生から育成 ○他県から選手が流入
柔道	佐賀工業 佐賀商業	<ul style="list-style-type: none"> ○インターハイで優勝者、入賞者。 世界大会出場者も → パリ五輪視野 ○2019国体少年男子5位
ラグビー	佐賀工業	<ul style="list-style-type: none"> ○2018国体3位、2019国体2位 ○他県から選手が流入 ○日本トップリーグチームに選手輩出 ○ 東京五輪候補選手輩出
新体操	神埼清明 佐賀女子	<ul style="list-style-type: none"> ○神埼清明はインターハイ男子2連覇 ○佐賀女子は2019国体6位 ○他県から選手が流入
剣道		<ul style="list-style-type: none"> ○2019少年女子国体5位
セーリング	唐津	<ul style="list-style-type: none"> ○ジュニアから高校まで育成 ○他県から選手が流入 ○ 東京五輪出場、岡田奎樹選手（現トヨタ）

13



SAGA SSP
always on your side

Saga SSP
Project

always on your side
いつも私たちがついで

007



SAGA SSP
always on your side

Saga SSP
Project

always on your side
いつも私たちがついで

008



	知事部局の取組	部活動との関係
人材育成	一流指導者活用等長期育成プログラムなど	競技団体実施だが、 指導の場として高校を活用 する例あり
	SAGA2023に向けた強化拠点校の指定	競技団体、県教委と協議 種目ごとに指定、 部活動を支援
	SSPアスリート SEAS支援対象選手の認定	競技団体（≒部活動顧問）推薦
練習環境 充実	SAGAサンライズパーク SAGA2023会場 鳥栖エレスリング場などの整備	県立高校に整備した施設等は、 部活動で活用

14

運動部活動の 在り方

- 1 運動部活動を取り巻く状況
- 2 運動部活動の実態
- 3 運動部活動の課題と方向性

15

1 運動部活動を取り巻く状況

教職員の時間外勤務上限の設定

- 月の上限 45時間を超えないこと
- 年の上限 360時間を超えないこと

「佐賀県立学校の教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置に関する規則」 (令和2年3月 佐賀県教育委員会)

➤ 生徒指導、学習指導、部活動指導等を含めた上限

適切な休養日等の設定

休養日

- ✓ 平日：1日以上
- ✓ 週休日：1日以上

活動時間

- ✓ 平日：2時間程度
- ✓ 休業日：3時間程度

※ $(2\text{h} \times 4\text{日} + 3\text{h} \times 1\text{日}) \times 4\text{週} = 44\text{h}$

「佐賀県『運動部活動の在り方に関する方針』」
(平成30年8月 佐賀県)

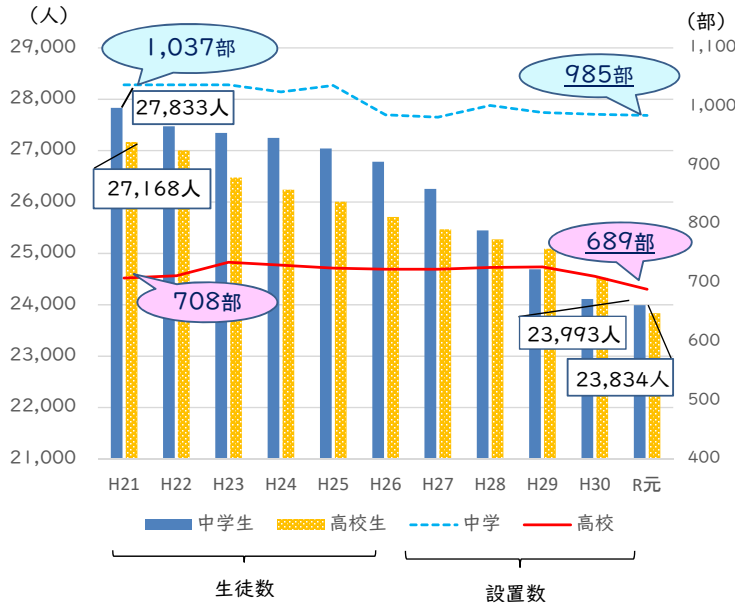
➤ 部活動指導のみで上限を超える可能性がある

16

2 運動部活動の実態

生徒数、設置部数の推移 (H21→R1)

(生徒数)		(部活動数)	
中学校	3,840人減	中学校	52部減
高校	3,334人減	高校	19部減



公立学校休養日の設定状況

- 平均週2日の休養日を設定した部活動の割合 (R元)
 - 高校 86.6% 中学校 99.6%
- 中学校第3日曜日の休養日設定割合 (R元) 99.6%

中学校顧問の特徴

- 生徒数によって学校の教員数(顧問数)が毎年変動する
 - 定員制の高校と異なる
- 一人顧問、掛持ちをする顧問の割合(R2) 合わせて 16.5%
 - 顧問の不足
- 非経験者顧問の部活動割合(R2) 37.4%
 - 専門的指導が困難

17

3 運動部活動の課題と方向性

運動部活動の抱える課題

- 競技力向上との兼ね合い
 - ・ 活動時間、指導時間の制限
- 専門的に指導できる教員の不足
 - ・ 指導に対する顧問の精神的な負担
- 少子化による生徒数・部員数減
 - ・ 成り立たない部活動の増加
- 部活動ニーズの多様化
 - ・ 新しい部活動設置の要望等
- 顧問数と部活動数のアンバランス
 - ・ 生徒数減に追いつかない部活動数減

これからの方向性

- ✓ トップ選手の活動時間の確保
 - ・ 科学的視点に基づく活動時間の管理
 - ・ 校務の整理による指導時間の確保
- ✓ 部活動指導員、外部指導者の活用
 - ・ 質の高い指導の実施、顧問の負担減
- ✓ 部活動数の精選
 - ・ 複数顧問体制の確立
- ✓ 地域との連携
 - ・ 合同部活動
 - ・ クラブ(社会体育)への移行
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの活用

18